

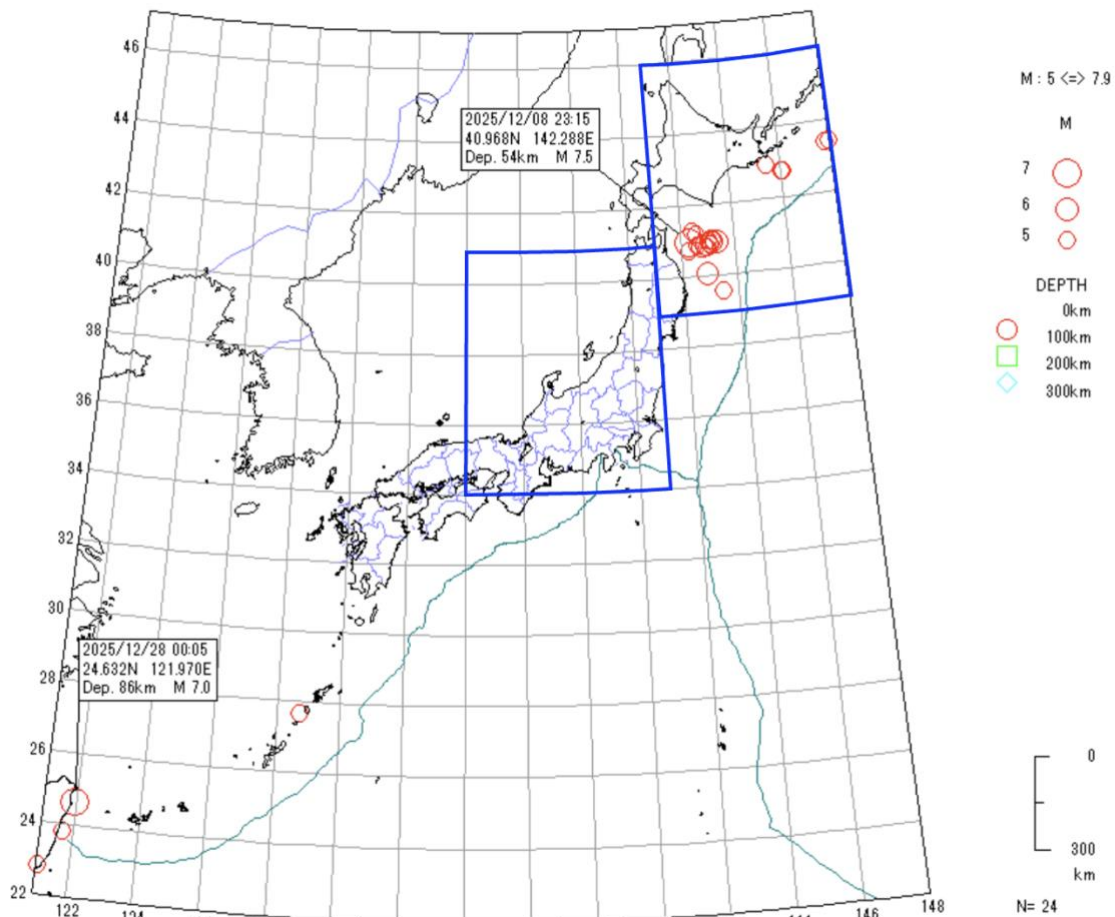


2025年12月の地震活動概観

12月は8日に青森沖でマグニチュード7.5の地震が発生し、一時津波警報も発令されました。さらに史上初めて「北海道・三陸沖後発地震注意情報」というものが発令されました。これは日本海溝・千島海溝沿いの領域で規模の大きな地震が発生すると、その地震の影響を受けて新たな大規模地震が発生する可能性が相対的に高まると考えられているためです。発令の基準は基本的に北海道の根室沖から東北地方の三陸沖の巨大地震の想定震源域及びM_w(モーメントマグニチュード)7.0以上の地震が発生した場合に、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が**機械的に**発表されます。重要なのは、なんらかの異常現象が観測されているために発令されたのでは無いという事です。過去の統計的な研究により、通常は1週間以内にマグニチュード8クラスの地震が発生する可能性が0.1%程度であるものが、その10倍の1%ほどに上昇するというものです。

警戒期間は一応1週間とされています。ただこの1週間という期間は「後発地震に注意」という啓発活動をやめるという期間であり、1週間が経過したら後発地震の可能性が無くなった訳では無いという事に留意をお願いします。「1週間は人間側の都合(=耐えられる期間)」で決められた期間なのです。

2025 12/1 0:0 — 2025 12/31 23:59

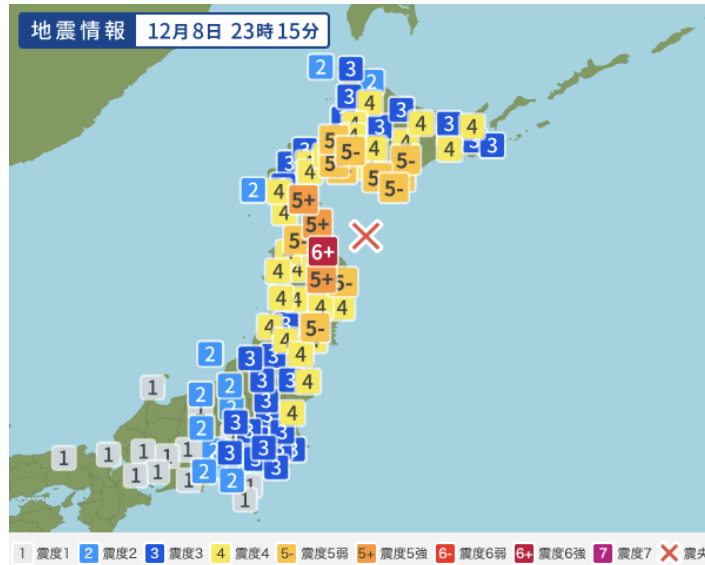


上の図には2025年12月に発生したマグニチュード5以上の地震が図示されています。かなり激しい地震活動が東北・北海道沖で発生しました。青色の四角の部分は次のページ以降に拡大図をお示しする領域です。



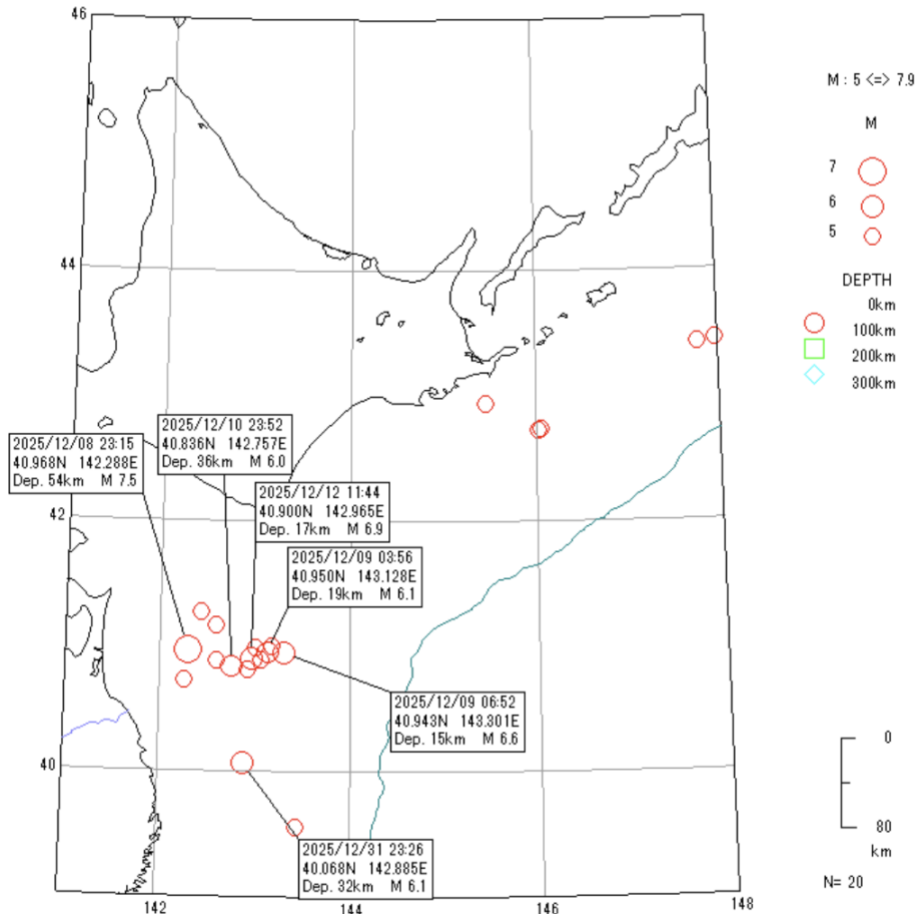
東北・青森沖での地震活動

12月8日23時15分ごろ、青森沖でマグニチュード7.5の地震が発生し、一時津波警報も発令されました。最終的に津波注意報は翌日午前6時20分に全て解除されました。ただ、この地震により「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発令されたため、DuMA/CSOも多くのメディアでこの解説を行う事となりました。



次の図は12月に発生したマグニチュード6以上の地震についてキャプションを記入しました。期間内に6個ものマグニチュード6以上の地震が発生しており、これは極めて激しい地震活動だったのです。

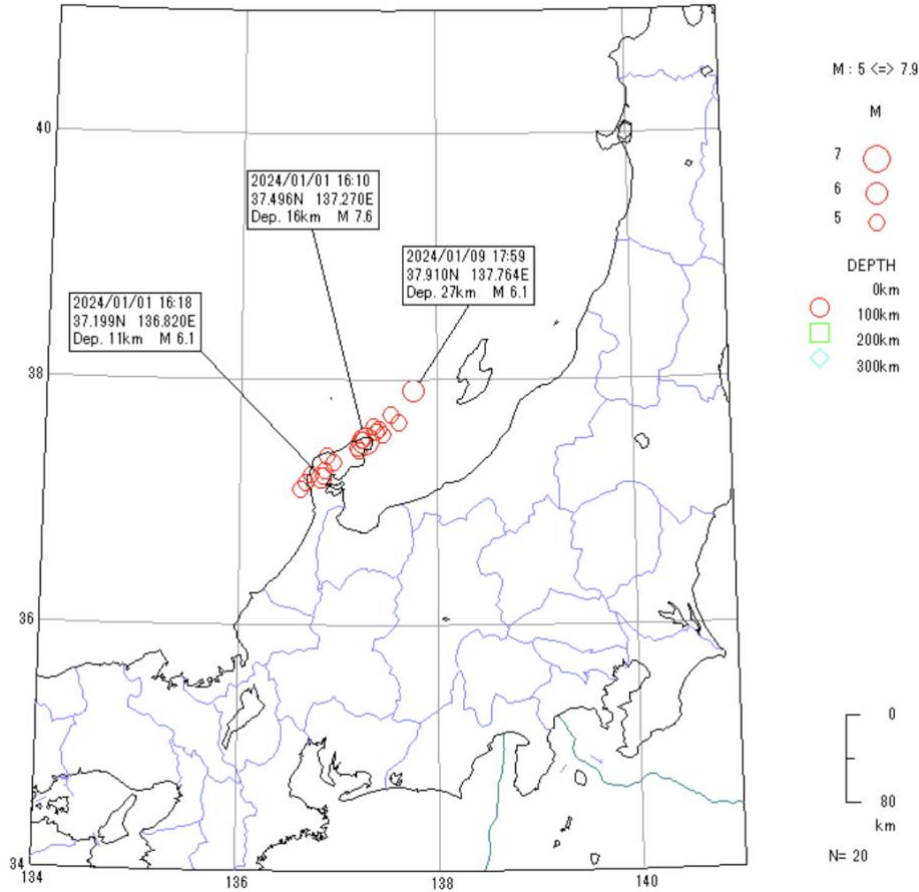
2025 12/1 0:0 -- 2025 12/31 23:59





比較のために、2024年1月の能登半島地震周辺で1ヶ月間に発生した地震を同じ条件で図示してみました。能登半島地震はマグニチュード7.6と12月8日の青森沖の地震より少し大きな地震でした。一ヶ月の間にマグニチュード6を超える地震は3個発生しました。またマグニチュード5を超える地震はいずれの場合も20個発生しており、青森沖の地震活動がもう少し陸に近い所で発生していたら、大変大きな被害地震となったと考えられます。つまり極めて活発な地震活動であったのです。

2024 1/1 0:0 -- 2024 1/31 23:59

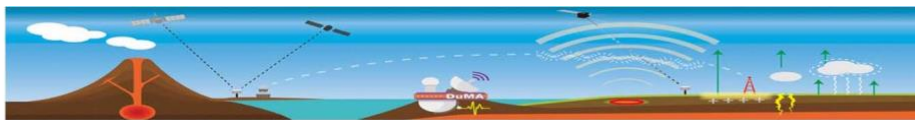


東海地方以西の地下天気図®

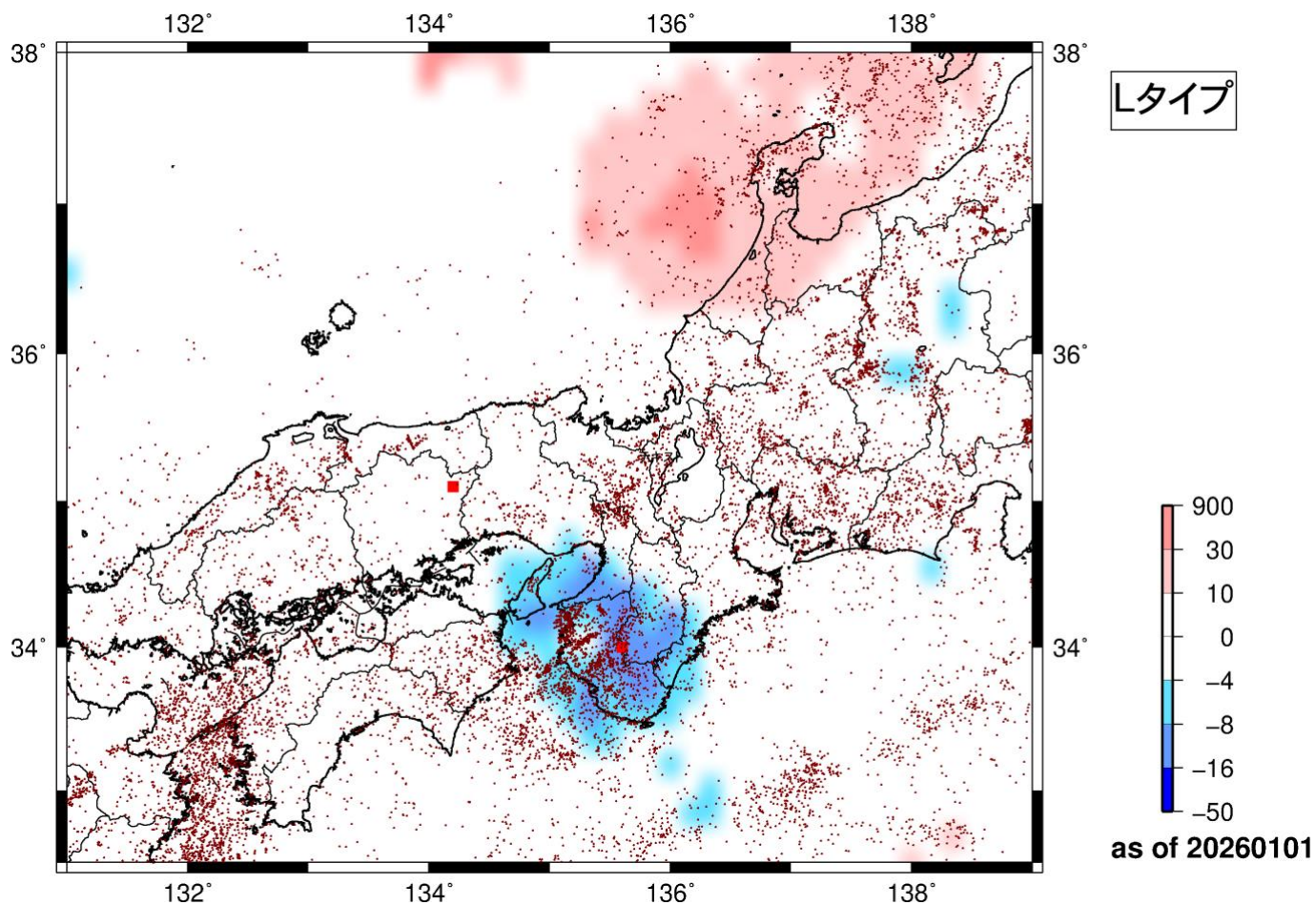
昨年11月24日のニュースレターに続き、今週は中部・近畿・中国・四国地方のLタイプ地下天気図をお示しします。

前回の報告と基本的なパターンは大きく変化していませんが、紀伊半島の地震活動静穏化(青い領域)は少しだけ静穏化が回復傾向に見えます。

能登半島周辺の地震活動活発化領域(赤い領域)は、少し赤色が薄くなり、少しずつ地震活動が収束に向かっている事がわかります。



2026年1月1日時点のLタイプ地下天気図



参考: 2025年11月24日に掲載した地下天気図

